

「福祉」は「ふだんのくらしのしあわせ」のことだと言われます。そのため、「福祉」を考えることは、誰もが自分らしく暮らすことのできる地域について考えることにもつながります。年齢や性別、価値観や考え方などの多様性を認め、地域の人たちと支え合っていくことの大切さへの理解を深める取組みを進めます。

取組みの方向性	具体的取組み
「ふくし」が育まれる、福祉教育の推進	<p>地</p> <p>地</p> <p>社</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住む地域や活動に興味を持つ。</li> <li>・近くで行われる研修などに積極的に参加する。</li> <li>・学校や企業などに職員を派遣し、福祉教育を推進する。</li> <li>・地域等に「出前講座」を行い、自主的に行われる福祉に関する学習を支援する。</li> </ul>
お互いを尊重し合う意識の醸成	<p>地</p> <p>地</p> <p>社</p> <p>市</p> <p>社</p> <p>市</p> <p>社</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際シンボルマークやヘルプマークについて知り、身につけている人を見たら必要に応じて手助けする。</li> <li>・若い世代が興味関心を持つテーマで講座等を開催し、若い世代へ地域貢献活動の意識醸成を図る。</li> <li>・多様性のある社会に関する広報・情報発信を行い、誰ひとり取り残さない地域づくりを進める。</li> <li>・多言語による情報発信や相談対応を実施する。</li> </ul>

Voice!

## 地域のみなさんの声

信頼関係は長い時間をかけ、つながりの中で生まれてくるもの。日常の中で、気掛けてくれる人が周りにいてくれることは、とても大切です。

障害者就業・生活支援センターぽるて

福祉は高齢や介護、施設といったイメージ。遠い未来のことで、自分事として捉えることが難しいです。でも、知ること協力でできる幅が広がると思います。

久留米工業大学生

「できそう」ではなく「楽しいこと」から、「一人でもできるような小さなこと」から始めたいです。

西圏域ワークショップ参加者



(写真:西圏域ワークショップの様子)

